

日本原子力学会標準委員会 リスク専門部会 レベル2 PRA 分科会
第39回レベル2PRA分科会

日時：2021年4月16日（木）13:30～16:30

場所：Webex 会議

出席者：

委員：村松（主査）、成宮（副主査）、濱崎（幹事）、廣内（幹事）、山越（幹事）、千年（幹事）、中村（康）、宇井、楠木、橋本、佐々木、小谷、白石、原口、小野田、中村（真）、美原、渡邊、松山、池田 20名出席
（欠席）石川

常時参加者：阿部、芦谷、友澤、長江、藤崎、三浦 6名出席
（欠席）小城、西村

議事：（発言者敬称略）

議事に先立ち、定足数及び配布資料の確認を行った。

議題1 分科会主査の互選

<要旨>

濱崎幹事より、資料 P10SC39-1 に基づき互選の説明がなされ、分科会主査の互選を実施され、主査として下記の方が選任された。

・主査：村松 健（東京都市大学）

また、主査から副主査が指名され、主査と副主査の協議により幹事が指名された。

・副主査：成宮 祥介（原子力安全推進協会）

・幹事：濱崎 亮一（元東芝エネルギーシステムズ株式会社）

・幹事：千年 宏昌（日立 GE ニュークリア・エナジー株式会社）

・幹事：廣内 崇幸（東芝エネルギーシステムズ株式会社）

・幹事：山越 義規（三菱重工業株式会社）

議題2 前回議事録の確認

<要旨>

千年幹事より、資料 P10SC39-2 に基づき、前回議事録要旨（案）の概要版について説明があった。特にコメントなく、正式版として発行することが承認された。

議題3 人事案件

<要旨>

濱崎幹事より、資料 P10SC39-3 に基づき、人事案件について報告があった。また、常時

参加者の登録が承認された。

- ・委員退任：阿部 豊（筑波大学）
- ・常時参加者の解除：諏訪 秀和（原電エンジニアリング株式会社）
- ・常時参加者の登録：阿部 豊（規制庁），大沼 俊彦（原電エンジニアリング株式会社）

議題4 津波拡張版へのコメントと文案の修正について

<要旨>

濱崎幹事より，資料 P10SC39-4-1, P10SC39-4-2 に基づき，標準委員会での意見・コメント募集に対する回答及び対応（案）が報告された。

「30.4 格納容器バイパス事象及び格納容器隔離失敗事象の分析」の確認から，標準全体において，内的事象，地震事象，津波事象の重ね合わせを考慮することを意図した記載となっていることを再確認することとなった。解説「3.5 津波による機器・システム及び操作への影響」の参考文献の表記は，現状では引用のように見えるため，行頭は「・」等の表記に変更することとなった。解説「5.5 beneficial failure の考え方について」は考え方を追記することとなった。その他の意見・コメントに対しては，対応案が承認された。

また，本分科会後に2週間後を期限に，津波拡張標準案の再度のレビューを実施した上で，リスク専門部会に提出することとした。

議題5 レベル2標準（地震拡張）の転載許諾の状況

<要旨>

濱崎幹事より，資料 P10SC39-5 に基づき，レベル2標準（地震拡張）の転載許諾の状況が報告された。最新の転載許諾，参考文献引用のルールに沿った追加の転載許諾の状況としては，45件の許可が得られており，残り4件の転載許諾手続きが進められていることが報告された。

議題6 JCNRM Level 2 WG（2月）の参加報告

<要旨>

濱崎幹事より，資料 P10SC39-6 に基づき，JCNRM Level 2 WG への参加報告がなされた。レベル2 PRA 標準(ASME/ANS RA-S-1.2)へのコメントに対する規定文の修文に係る議論内容や，コメント対応の修文作業は当初スケジュールより遅れており，レベル2標準が正式発行されるのは，2022年初め頃になると予想されることが報告された。

議題7 今後の進め方

<要旨>

濱崎幹事より，資料 P10SC39-7 に基づき，レベル2PRA 分科会の今後のスケジュールが報告された。レベル2PRA 標準（地震拡張）の今後の流れは，転載許諾の完了，発行版の準

備, リスク専門部会, 標準委員会への報告を予定している。また, 発行の目途が立った時点で標準講習会の開催を調整する。レベル 2PRA 標準 (津波拡張) については, 2022 年 2 月の制定を目指し, 津波拡張版一式を完成させていく。また, 第 56 回リスク専門部会 (2021/5/18) にて本報告予定。

次回レベル 2 PRA 分科会は 7 月 16 日に Web 会議で開催する予定。

以上